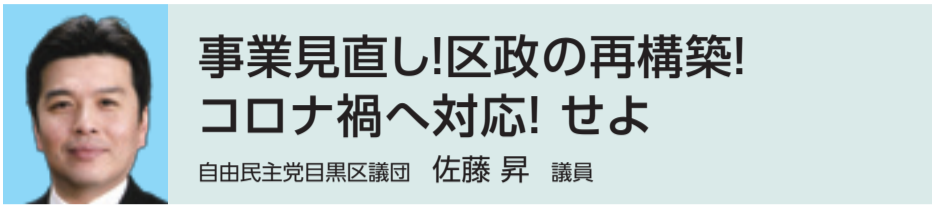


# 一般質問と答弁 要旨

一般質問の詳細は、ホームページの「インターネット議会議中継」で録画をご覧ください。



## 事業見直し!区政の再構築! コロナ禍へ対応! せよ

自由民主党目黒区議団 佐藤 昇 議員

**問** 区長は今後の任期、リーダーシップを発揮して、どのように区政に取り組んでいくのか所見を伺う。

**区長** 新型コロナウイルス対策の強化、長期計画の改定などにリーダーシップを発揮して取り組む。

**問** 厳しい令和3年度行財政運営を強く意識し、事業見直しを進め、区政運営の再構築を図り区民サービス向上に努めよ。

**区長** 区政を取り巻く諸課題をしっかりと把握したうえで見直し、改善を進め、安定した行財政運営を進めていく。

**問** 新型コロナウイルス感染症への対応について

(1)新型コロナウイルス感染症発生から今日までの、危機管理への現状認識を伺う。(2)収束する道筋が見えない中で、

今後の課題点を伺う。(3)区として「新しい日常」(※1)への取り組みを伺う。

**区長** (1)区民の生命と健康を守り、区民生活を支えることを第一に考え、全庁一丸となり早め早めの意思決定を重ねてきた。(2)感染拡大を抑えつつ、経済社会活動を維持して区民の生活を守ることが課題である。(3)区民の意識啓発を図りつつ、安心して参加できる区の行事のあり方や、区の施設の利用方法の改善に取り組む。

**問** 介護・障害事業の利用者や職員を守るための取り組みについて

(1)第2波を見据え、利用者や職員への新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みを伺う。(2)職員の精神的負担軽減対策を伺う。

**区長** (1)これまでの支援策を検証し、国や都の支援内容を確認しながら、感染拡大防止に取り組む。(2)介護事業所職

員のための「なんでも相談窓口」の周知に努めるとともに、職員の精神的負担軽減のための対策に取り組む。

**問** 緊急事態宣言解除に伴った、小・中学校の授業再開について

(1)授業を再開するに当たり、児童・生徒の学びを保障すると同時に、感染対策を行うことについて伺う。(2)臨時休業期間が長期化したことにより、児童・生徒は心理的に負担を強いられてきた。児童・生徒の心のケアについての考えを伺う。

**教育長** (1)「学校教育活動再開マニュアル」と「学校衛生管理マニュアル」を作成し、教育活動と衛生管理の両面から留意事項をまとめ、各学校に周知・徹底を図る。(2)学級担任だけでなく、学校として組織的に対応するとともに、家庭との連携も深めながら、児童・生徒の心のケアに努める。

**問** 再度の感染症による緊急事態宣言実施が想定される中での、今後の学校教育について

(1)GIGAスクール構想(※2)の実現に向けた情報端末整備のスケジュールや内容を伺う。(2)1人1台の情報端末を活用した

教育活動について伺う。

**教育長** (1)年度内に情報端末を1人1台整備し、学校や家庭での子どもたちの学びを保障できる環境を実現していく。(2)児童・生徒が、新しい時代を生きるための資質・能力を身に付けることを目指していく。

**問** 区内の医療提供体制の強化について

(1)第2波に備えたPCR検査体制拡充と抗原検査・抗体検査について伺う。(2)新型コロナウイルスに感染した区民を受け入れる病院への支援について伺う。

**区長** (1)現時点で、抗原検査はPCR検査に比べ感度が低く、抗体検査は診断に用いることができないため、最も精度の高いPCR検査を拡充していく方針である。(2)都の病床確保料に上乗せする形で、病床確保支援金を給付することで病院を支援していく。

- ※1 **新しい日常** 暮らしや働く場での感染拡大を防止する習慣。
- ※2 **GIGAスクール構想** 義務教育を受ける児童・生徒のために、1人1台の学習者用情報端末と高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画。

人数の3日分の備蓄を確保した。なお、段ボールベッドは、備蓄倉庫の保管スペースの確保や湿気への対応など課題があり、直ちに実施するのは難しい。

**問** 区民に寄り添った相談支援事業の実施について

新型コロナウイルスは、さまざまな年代の方に感染や仕事、家計の面で影響が大きく不安を与え深刻である。(1)新型コロナウイルスから区民生活を守るため、

国や東京都、区からさまざまな支援が出されたが、多くの方から「相談窓口は」「受けられる支援は」と声があった。土日・祝日開庁や大会議室での休日相談会をせ

よ。(2)「ひとりぐらし等高齢者登録」をされていない方への支援をせよ。

**区長** (1)新型コロナウイルスが区民生活にさまざまな影響を及ぼしている間は、開庁日における「福祉の総合相談窓口」の臨時的な開設を検討する。(2)地域資源のネットワークを活用し、社会から孤立しがちな高齢者や世帯へのアウトリーチ(※2)による支援に取り組んでいく。

- ※1 **3密** 密集、密閉、密接
- ※2 **アウトリーチ** 社会福祉の実施機関がその職権によって潜在的な利用希望者に手を差し伸べ、利用を実現させるような取り組み。

営・連携を図れるよう国家公務員の派遣を要請せよ。

**区長** 現状として、ご指摘の趣旨を踏まえた国家公務員の派遣を要請することは難しいが、職員派遣の有益性等も踏まえ、どのように対応していくか、今後の検討課題にする。

**問** コロナ禍の羽田新ルートを見直し

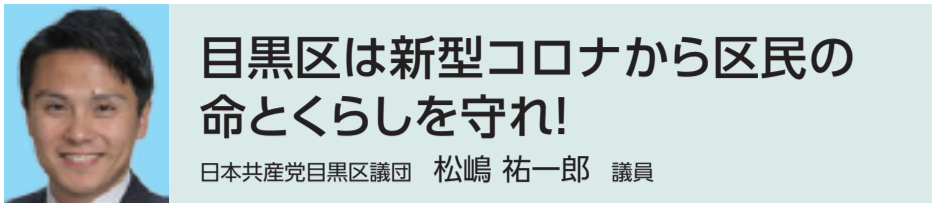
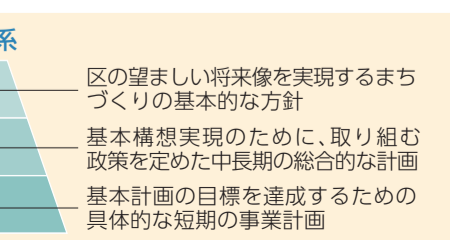
インバウンド拡大と五輪を目的とした、都心上空を飛ばす羽田新ルートの飛行理由は失せた。コロナショックで飛行便が9割減りコロナ自粛の中、騒音に怒りを感じる住民は多い。コロナ前の航空便数に復活するまで羽田新ルートの停止を

要請せよ。

**区長** 国は、減便が発生している期間を活用して安全対策などの徹底と、増便した際の円滑な運用に備えたいとしている。区は、コロナ前の航空便数に復活するまで、新飛行ルート運用の停止要請を行う考えはない。

**問** コロナ禍の羽田新ルートを見直し

インバウンド拡大と五輪を目的とした、都心上空を飛ばす羽田新ルートの飛行理由は失せた。コロナショックで飛行便が9割減りコロナ自粛の中、騒音に怒りを感じる住民は多い。コロナ前の航空便数に復活するまで羽田新ルートの停止を



## 目黒区は新型コロナから区民の命とくらしを守れ!

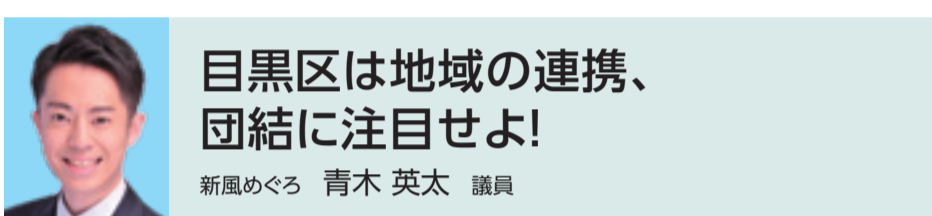
日本共産党目黒区議団 松嶋 祐一郎 議員

**問** 青木区長が区長選ポスターで示した「共産の手から守ります」は思想によって区民を分断し差別する行為。憲法19条からも公平中立であるべき自治体の長として許されない暴挙。発言を撤回せよ!

**区長** 「区民」を、「区民個人の権利と自由な活動」を、共産主義のイデオロギーから守る立場をとることをはっきりと表明したもので、撤回するつもりはない。

**問** 新型コロナから区民の命と健康を守るために

(1)今回の新型コロナ感染拡大は、目黒区の保健衛生の在り方を根本から問い直した。第2波に備え激務の保健所の職員を増やし体制を強化すべきではないか。(2)新

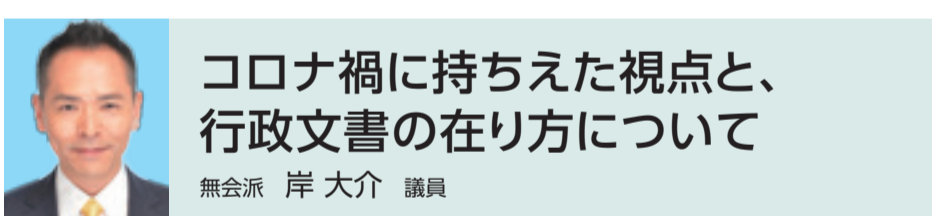


## 目黒区は地域の連携、団結に注目せよ!

新風めぐろ 青木 英太 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症対策への対応について

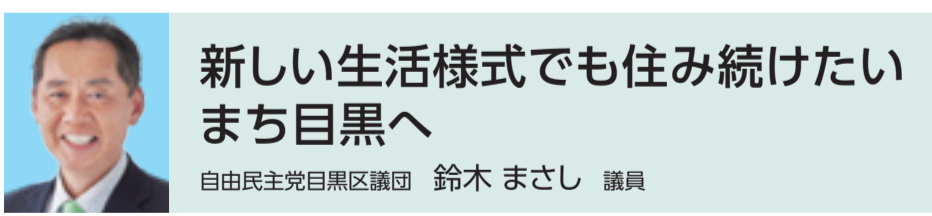
(1)国による地方創生臨時交付金の活用の一つとして、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つために団体等が新たに行う取り組みへの支援を区として行うべきだと考えるが、所見を伺う。(2)コロナウイルスに対する防止策や地域経済への支援策など情報がまさに洪水のようにあふれている。台風19号における情報発信の教訓を活かし、どのような方針のもと情



## コロナ禍に持ちえた視点と、行政文書の在り方について

無党派 岸 大介 議員

**問** (1)緊急事態宣言の下、本区がどのような過程を経て、数々の政策判断がなされたのか。行政の記録を将来世代へ伝えることは、区民への説明責任を果たすことにつながる。その意味で行政文書の保存は最重要であり、扱いに関しては「区別



## 新しい生活様式でも住み続けたいまち目黒へ

自由民主党目黒区議団 鈴木 まさし 議員

**問** 新しい生活様式でも住み続けたい目黒となる将来像

令和2年度末に改定する目黒区の目指す将来像を明らかにした基本構想(※1)は、想定外の事態に対する区政運営の在り方を明確にし、新しい生活様式(※2)における基本計画(※1)の改定と連携せよ。**区長** 基本構想は、区の将来像といった、やや抽象的なものになるが、一方で社会経済の大きな変化、区民生活や意識の変化、また区の財政状況等を的確にとらえて、適切に反映させていくことは重要で

型コロナの検査体制を拡充せよ! 症状が出て、かかりつけ医や保健所に相談しても、なかなか検査を受けさせてもらえない。軽症であっても積極的に検査し、区として感染拡大を防止せよ。(3)出産の不安を抱えるすべての妊婦へのPCR検査を実施せよ。

**区長** (1)組織内部の連携協力はもとより、全庁的な応援態勢の中で、柔軟かつ機動的に保健師や事務職を配置し、区民の安全・安心の確保に当たっており、保健所職員の増員を基本とした抜本的な拡充は考えていない。(2)目黒区医師会との連携に加えて、区内の5つの病院にも区委託のPCR検査センターを感染拡大状況に応じ順次立ち上げていただけるよう検討し

報発信に努めたが、所見を伺う。(3)今回の目黒区役所における在宅勤務を通じてテレワーク(※1)の導入の必要性が高まっていると思われる。今後第2波、第3波の発生も懸念される中で、早期にテレワークの環境を整えるべきではないか、所見を伺う。

**区長** (1)商工まつり運営委員会によるめぐろ事業者応援プロジェクトに加え、商店街連合会によるプレミアム付商品券発行を支援し、区内事業者の事業継続支援に取り組んでいく。(2)区では、1月に

規集」への明文化、条例化によって法的に担保すべきである。将来的には第三者機関(公文書保存施設)への移行をも検討すべきと考えるが、いかがか。(2)国の公文書管理法の趣旨と、区の文書管理規程及び実運用には差異を感じるが、いかがか。

**問** 新しい生活様式における地域共生社会の実現へ

次期の保健医療福祉計画、介護保険事業計画、障害者計画の改定では、3密(※3)を回避した地域の支え合いと健康寿命延伸が重要であり、高齢者向けICT利活用支援で新しい社会参加を構築せよ。**区長** 高齢者の中でもデジタル・ディバイド(※4)があるので、たとえば3密を回

ている。1日当たり合計100件以上の検査体制を構築する予定である。(3)妊婦に対してのPCR検査は、医師が必要と認める場合に行う。全員一律に不安解消のためのPCR検査を実施することは、現在のところ考えていない。

**問** くらしと営業を守るための目黒区独自の区民支援を

(1)自粛要請で疲弊する中小業者に対する目黒区独自の家賃減額助成を!(2)区内で自活し生活が苦しい学生に対する住居確保給付金の利用の周知を図れ。(3)コロナ第2波に備え、「ステイホーム」できるよう65歳以上の低所得者世帯へのエアコン設置助成を実施せよ。**区長** (1)中小企業に対する支援は融資による資金繰り支援が最も効果的と考えられており、緊急融資制度等による資金繰り支援に努める。(2)住居確保給付金制度は学生でも要件を満たせば当分の間、例外的に支給対象になることを区内の大学な

CDN(※2)を導入し、情報の集中によるホームページ閲覧の障害発生を抑制した。また、情報をわかりやすく印象に残るように伝えるためには、映像や音声による情報伝達が非常に効果的であると考え、ビデオメッセージで情報発信も行なった。(3)テレワークの環境の整備は、単なる在宅勤務の推進ということだけでなく、今後の社会生活のあり方への対応を見据え、さまざまな視点で検討を進めていくことが重要と考えている。

**問** 大学と連携した地域づくり

自治体と大学との連携は、大学に集積する知識や情報を地域が抱える諸課題への解決に活用できるメリットがある。感染症の流行、自然災害の頻発、超高齢化社会の到来など、目黒区が直面する課題が

(3)区民から信託された公務、事務を遂行するための行政文書であるならば、その所有主は区民であると理解できるが、区の認識を伺う。(4)最善であると判断された諸施策及びその根拠まで含めて、区民の「記録資産」とし、最大限保管されることを求める。**区長** (1)文書は、文書目録を作り原則開示にしている。第三者機関への移行は、人件費もかかる。そのため、第三者機関への移行や条例化は、にわかに急いで検討する必要があるのかと感じる。(2)文書の

利用度、重要度等を総合的に判断し、必要最小限の年数保管をしている。国と区の大きなずれはないと認識している。(3)所有は、主催者である区民である。ただし、個人情報や公表できない情報内容であれば、非公開の文書もある。全てが活用できるわけではないことも付言しておきたい。(4)文書の利用度と重要度に保管のコストとのバランスをとり、引き続き重要と判断すれば最大限に保管を更新することが可能である。

**問** 目黒区もアートにエールを!

東京都は「アートにエールを!東京プロジェクト(※5)」で活動の場がなくなったアーティストを支援している。目黒区も独自に区内在住のアーティストを支援せよ。**区長** 区内在住の音楽家や芸術家の活動機会の提供や活動に対する支援は、区民への還元方法も含め検討していく。

**問** 新しい生活様式は公立小中学校の魅力づくりの好機

主体的・対話的な授業で児童・生徒自身が考える新しい学校生活、オンラインホームルームや部活動によるプログラミング学校生活、新しい生活様式における新しい

どへ周知するとともに、学生からの相談には丁寧に説明していく。(3)寄せられる相談等を踏まえ、低所得者世帯にどのような支援が必要か研究する。

**問** 新型コロナ対応に追われ疲弊する介護施設の現場を支援せよ

(1)区内の特養ホームでクラスターが発生した際、区の対応に課題が残った。高齢者施設でクラスターが発生した際には、速やかに全員にPCR検査できる体制を整えよ。(2)デイサービスなど利用者が減った介護事業者にさらなる給付金を支給せよ。**区長** (1)保健所と施設の嘱託医とが協議の上、無症状の濃厚接触者を含めて検査の判断をしていく。(2)今後の新型コロナ感染症の状況や国の動向に注視しながら、介護事業者への支援を引き続き検討する。

多様化し、日々変化する中で、大学との連携をより強固にする必要があると考えるが、所見を伺う。

**区長** 専門的な知見を有する方々のご意見を伺いながら区民福祉の向上を図っていくことは、重要なことと強く認識し、大学との連携協力は欠かせない。どのような目的で連携を進め、そのための仕組みを構築していくべきか、さまざまな視点で調査研究していく。

- ※1 **テレワーク** 情報通信機器を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。
- ※2 **CDN** コンテンツ・デリバリー・ネットワーク(Content Delivery Network)の略で、配信ネットワークを利用して、ウェブサイトへアクセスの集中を回避する仕組み。

利用度、重要度等を総合的に判断し、必要最小限の年数保管をしている。国と区の大きなずれはないと認識している。(3)所有は、主催者である区民である。ただし、個人情報や公表できない情報内容であれば、非公開の文書もある。全てが活用できるわけではないことも付言しておきたい。(4)文書の利用度と重要度に保管のコストとのバランスをとり、引き続き重要と判断すれば最大限に保管を更新することが可能である。

学校生活の構築を公立小中学校の魅力づくりの好機と捉えて取り組みを土台として一層の充実と発展を図り、ICT環境を生かした新しい学習と生活の可能性を求めていく。また、各学校の創意工夫あふれる教育活動を支援し、区立学校のさらなる魅力づくりを進めていく。

- ※1 **基本構想、基本計画、実施計画(左図参照)**
- ※2 **新しい生活様式** 厚生労働省が公表した感染症拡大を予防するための生活実践例
- ※3 **3密** 密集、密閉、密接
- ※4 **デジタル・ディバイド** 情報格差
- ※5 **アートにエールを!** 東京プロジェクトの専用ウェブサイトで配信するアーティストの動画作品を募集し、出演料相当として一人当たり10万円を支給する取り組み

**区議会ですでられる用語**

**一般質問** 議員が本会議で、議長の許可を得て、区の一般事務や事務の執行状況・将来に対する方針などを質問すること。

**継続審査** 会期中に議案などの審査・調査を終了することが困難な場合に、議会の議決によって、会期が終了後も引き続き委員会です審査・調査を行うこと。

**委員会付託** 本会議に提出された議案などの詳しい審査や調査を、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会に委ねること。